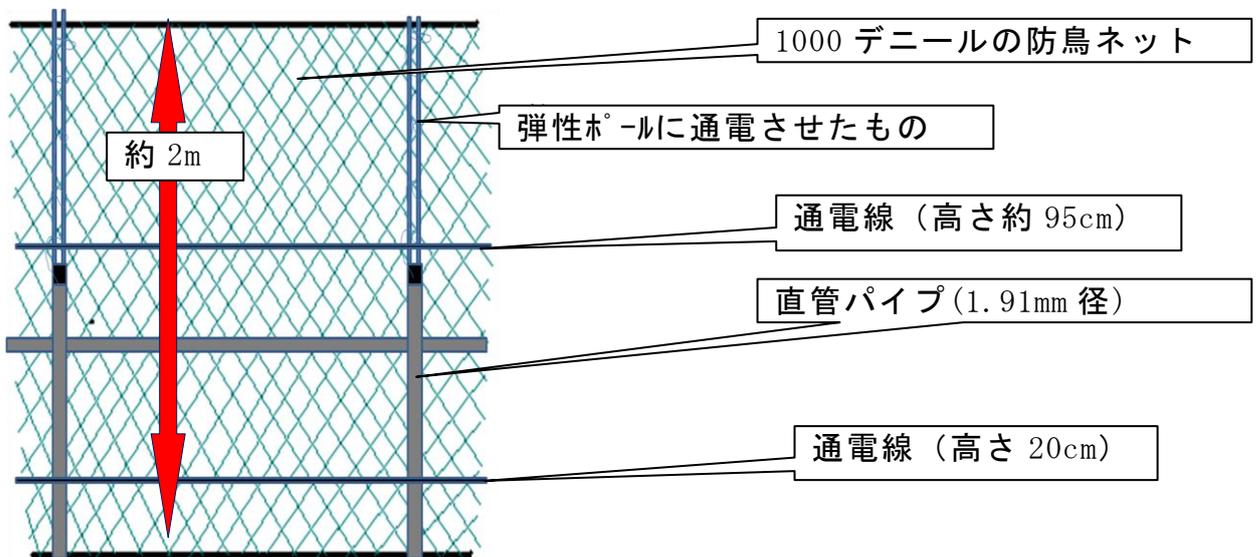


# 埼玉型電落くん（1型）でサルから畑を守る！

埼玉型電落くん（1型）は、サルの「握って登る」習性を利用して、サルの侵入を防止する電気柵です。この柵の特徴は、①裾を押さえたネット、②登りにくいネットと揺れてつかみにくい支柱、③電気によるショックです。

畑に入ろうとするサルは、まずネットの下から入ろうとしますが、裾はしっかり押さえてあるので、下から入ることができません。次に、支柱をよじ登って中に入ろうとします。柵は登りにくいネットと揺れてつかみにくい支柱となっているため、登ろうとしたサルは柱をしっかり握ります。支柱には通電してあるため、サルは電気ショックを受け、畑に入ることができません。

## 1 埼玉型電落くん（1型）の構造



## 2 埼玉型電落くん（1型）の効果

写真は三方を山に囲まれ、サルの被害で10年間農作物が作れなかった畑のハクサイ  
(H20. 7. 17 設置、H21 冬)

